

# 7年連続インターハイ!予選突破!!

## ボート競技は、高校から始める人がほとんどです。

# 徳島市立高校でボートをきこよし

# 市高漕艇新聞



特別号

徳島市立高等学校

<http://www.tokushima-m-hs.ed.jp/>



令和元年度 熊本インターハイ

### ボートってどんなボート?

ボートの公認種目は10種類。高校で行われるのはその中の3種目です。ボート競技自体はスカル種目(オール2本)とスloop種目(オール1本)があります。が、高校ではシングル・ダブル・舵手付きクオドルプルの3つのスカル種目で競技を行います。高校の競漕距離は千mですが、世界的にはボートレースは2千mが主流で、オリンピックや世界選手権、全日本選手権では2千mで争われます。

ボート競技は日本ではまだ認知度が高くない競技ですが、欧米では非常に人気が高く、長い歴史を持ったスポーツです。ボート競技が目指すことは『仲間と一緒に競争に勝つ』という非常にシンプルなことですが、しかし、それを実現する過程で体得される『仲間からの信頼、仲間に対する信頼、そのためのトレーニング・自己努力・責任・規律』等々を『Oarsman ship』と呼び、その習得を目標とします。野球やサッカーのように、個人的な離れ業やフラインプレーというものはありません。スタートをしたら試合中は仲間の顔を見られない分だけ、お互いを信じてゴールまで全力疾走するしかありません。レース中は、特に漕ぎ方に複雑な変化をつけるわけではなく、ただひたすら同じ動作を繰り返す。逆にこの「仲間を信じてひたすら漕ぐ」姿勢がボート競技の魅力になっています。



毎年出場している琵琶湖の朝日レガッタ



ローイングエルゴメーター(室内練習用)

# 「NEO徳島アップスポーツ校強化事業」に指定されています。

## 2022年までの3年間で、全国上位入賞を目指します。



本校の艇庫(校内唯一の旧校舎)

### 漕艇新聞によせて

顧問 栗田 一也

平素より本校の教育活動に格別のご理解・ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、ボート部に興味がある方ない方も、この文章に目を向けて頂き、ありがとうございます。少しでも市高ボート部の紹介をさせていただきます。

本校のボート部は学校設立とともに創部され、現在まで58年間活動を続けてきました。富岡西高校のボート部が廃部となつてからは、県下唯一のボート部として、毎年、四国総体と全国総体へ出場しています。また、11年前は1名だった



平成31年度 県総体での集合写真

また、本競技は自然と向き合うスポーツであるため、熱中症や水難事故の可能性が無いわけではありません。学校には救助用の動力船を配備し、全力で生徒の安全を確保したいと思っております。どうぞ、よろしくお願います。またお時間がありましたら、本校HPもご覧ください。競技の詳しい説明や、活動実績も掲載されています。

部員も、現在50名近くとなり、部内での団結力と競争力を武器に、インターハイでは予選を突破。国体にも4年連続で出場するまでに成長しました。しかし、ボート部の目的は勝つことだけではなく、生徒が主体的に活動し、ボ